



平成 25 年 8 月 16 日
アンジェス MG 株式会社

当社に関する現状について

この度は Allovectin[®]の第Ⅲ相臨床試験結果の公表により、当社を取り巻く現状について、株主様を始めとしたステークホルダーの皆様方にご心配をおかけいたしております事をお詫び申し上げます。当社に関する状況のご説明をさせていただきます。

1. Allovectin[®]について

米国Vical社との間で提携開発を行なっていたAllovectin[®]の第Ⅲ相臨床試験について、Vical社から主要評価項目である奏功率と副次評価項目である全生存期間のいずれにおいても、統計学的に有意な改善効果が示されなかったと発表がありました。当社グループは、今後、Allovectin[®]の第Ⅲ相臨床試験の詳細なデータが送られてまいりますので、十分な検証を重ね、メラノーマ以外の癌疾患での適応を踏まえて検討してまいります。

2. 財務内容および「継続企業の前提に関する重要事象」について

当社グループは、経営合理化策等によりコストダウンに努め、資金調達（第 2 四半期連結累計期間において、第三者割当増資及び行使価額修正条項付新株予約権の行使により 25 億 65 百万円に加え、7 月に 8 億 30 百万円、計 33 億 95 百万円）を行ないました。

以上により、当社グループの資金面での安定性が増し、主要な研究開発活動を推進する当面の目途が立ったことから、第 2 四半期報告書においては「継続企業の前提に関する重要事象」を生じさせる状況は解消されました。

3. 当社プロジェクトの今後の対応について

これらの状況から、自社製品であるコラテジェンの米国第Ⅲ相臨床試験、NF- κ B デコイオリゴに関連する各種臨床試験、および CIN 治療ワクチンの開発を重点的に推進してまいります。

以上